

ふりがな 氏 名	すぎはら ひろき 杉原 央樹	職 名	准教授
取得学位	修士(教育学)	学会での受賞歴	
主な担当科目	教育原理Ⅰ、教育史、幼児教育学原理、保育・教職実践演習(幼稚園)		
所属学会	教育哲学会 日本デュエイ学会 日本教師教育学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
「幼児教育学原理」、「教育史」等の授業における「履修ノート」の活用	平成28年4月～令和4年1月	「履修ノート」と呼ばれる振り返りシートを学生に記入させ、その内容を次回以降の授業に活用した。質問が記入されていた場合には次回授業で全体に補足説明を行い、双方向性を意識した授業の展開を目指した。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.2 〈ISBN978-4-86487-720-6〉	共	平成29年 7月6日	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 著者: 荒川志津代、市村由貴、大森雅代、小椋郁夫、門松愛、小泉敦子、榊原剛、佐々木基裕、渋谷寿、Douglas Jarrell、杉原央樹ほか(著者 計28名) 全164ページ中、第1章第6節「知識基盤社会で求められる「学力」と「資質・能力」—「変化」の捉え方に着目して—」を執筆。(pp.31-36)
	教職・保育職シリーズ4 教育・保育の学びプラス・ワン 〈ISBN978-4-86487-784-8〉	共	平成29年 12月1日	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 著者: 荒川志津代、市村由貴、伊藤充子、稲木真司、大鐘啓伸、門松愛、雲英亮子、國京恵子、小泉敦子、榊原剛、渋谷寿、杉原央樹ほか(著者 計27名)全160ページ中、第1部第1章「教師のあり方を理解する為の「教師の仕事・職務」再考-「理解する・わかる」ことの難しさにも着目して-」を執筆。(pp.1-6)
	教職・保育職シリーズ5 教育・保育の新視点 〈ISBN978-4-86487-845-6〉	共	平成30年 3月6日	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 著者: 荒川志津代、市村由貴、

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	<p>教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.3 〈ISBN978-4-86487-911-8〉</p> <p>ミネルヴァ教職専門シリーズ3 教職論 〈ISBN978-4-623-08956-7〉</p>	共	平成 30 年 7 月 17 日	三恵社	<p>伊藤充子、稲木真司、入口愛、大鐘要、大鐘啓伸、大曾基宣、小椋郁夫、加藤佳代子、門松愛、國京恵子、倉田梓、榊原剛、佐々木真吾、佐々木基裕、渋谷寿、<u>杉原央樹</u>ほか(著者計 31 名)全 310 ページ中、第 1 部第 1 章「教育原理」・「教育史」等の「役立ち」に関する一考察—教育哲学の視点を手掛かりに一」を執筆。(pp.1-10)</p> <p>名古屋女子大学文学部児童教育学科編 著者:荒川志津代、市村由貴、入口愛、大鐘啓伸、大曾基宣、小椋郁夫、門松愛、國京恵子、榊原剛、佐々木基裕、渋谷寿、<u>杉原央樹</u>ほか(著者計 24 名)全 202 ページ中、第 1 章第 2 節「主体的・対話意的で深い学び」の理解に関する一考察—「教育原理」の「見方・考え方」を手掛かりとして一」を執筆。(pp.11-17)</p> <p>広岡義之、林泰成、貝塚茂樹監修 津田徹、広岡義之編著 著者:津田徹、柏木敦、池上徹、林美輝、塩見剛一、佐々木哲哉、武田猪久生、嶋口裕基、<u>杉原央樹</u>、諏訪絵里子、佐久間裕之(著者 計 11 名)全 233 ページ中、第 12 章「保護者への対応」を執筆。(pp.154-166)</p>
		共	令和 3 年 11 月 25 日	ミネルヴァ書房	

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
論文	大学における効果的な授業法の研究7—学生の主体的な学びに関する調査結果—	共	平成29年 5月31日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第11号	白井靖敏、遠山佳治、渋谷寿、原田妙子、羽澄直子、服部幹雄、歌川光一、辻和良、野内友規、 <u>杉原央樹</u> 、吉川直志、佐々木基裕、三宅元子(pp.121-129)
	教職課程担当教員の専門性に関する研究動向—「教師教育者」および高等教育研究を中心に—	共	平成31年 3月10日	名古屋女子大学発行、紀要編集委員会編『名古屋女子大学紀要』第65号(人文・社会編)	佐々木基裕、 <u>杉原央樹</u> 全13ページ(pp.243-255)中、pp.247-252を執筆。
	教師教育におけるリフレクション(reflection)モデルに関する考察—F・コルトハーヘンのALACTモデルに焦点をあてて—	単	平成31年 3月20日	早稲田大学教師教育研究所(プロジェクト研究所)『早稲田大学教師教育研究所紀要 教師教育研究』第9号	pp.5-16
	大学における効果的な授業方の研究7(平成27~29年度)—学生が主体的に学修する力を身につけるための教育方法の開発—	共	令和元年 5月31日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第13号	市村由貴、佐々木基裕、渋谷寿、白井靖敏、 <u>杉原央樹</u> 、竹内正裕、遠山佳治(代表)、豊永洵子、羽澄直子、服部幹雄、原田妙子、野内友規、山田勝洋、三宅元子、吉川直志 全47ページ(pp.1-47)中、第4章第1節4.「教育史」等における「主体的な学び」について」を執筆(pp.28-29)。
	教師教育における「省察的实践者」としての専門家の役割—「省察的实践者」の教育に伴う困難を踏まえて—	単	令和2年 3月31日	早稲田大学教師教育研究所(プロジェクト研究所)『早稲田大学教師教育研究所紀要 教師教育研究』第10号	pp.17-27
保育者志望学生の保育者観の豊富化に関する一考察—学生の「経験」に基づいた気づきへの一提案—	単	令和3年 1月15日	名古屋女子大学文学部 児童教育学科編『児童教育論集』第4号 令和2年度	pp.95-99	

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
学会発表	教員による「反省的実践」論の受容に関する考察(口頭発表)	単	平成 29 年 9 月 18 日	日本デュイ学会第 61 回研究大会(早稲田大学)	発表要旨集録 p.43
	「省察的実践者」への「成長」に関する考察—「成長」の意味に着目して—(口頭発表)	単	令和元年 10 月 6 日	日本デュイ学会第 63 回研究大会(慶應義塾大学)	発表要旨集録 pp.38-39
	教員養成における「省察」の深さに関する考察(口頭発表)	単	令和 3 年 9 月 26 日	日本デュイ学会第 64 回研究大会(オンライン・Zoom ミーティング)	発表要旨集録 pp.33-34(PDF)
その他(報告等)	大学における効果的な授業法の研究7—学生が主体的に学修する力を身につけるための教育方法の開発—(機関研究中間報告)	共	平成 29 年 5 月 31 日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第 11 号	歌川光一、佐々木基裕、渋谷寿、白井靖敏、 <u>杉原央樹</u> 、辻和良、遠山佳治(代表)、服部幹雄、羽澄直子、原田妙子、野内友規、三宅元子、吉川直志(p.178)なお、代表執筆者がグループの研究経過をまとめて記述しているため執筆箇所を示すことはできない。機関研究中間発表については以下も同様である。
	大学における効果的な授業法の研究7—学生が主体的に学修する力を身につけるための教育方法の開発 特定非営利活動法人 NEWVERY による現状調査報告—(機関研究中間報告)	共	平成 29 年 5 月 31 日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第 11 号	渋谷寿、歌川光一、佐々木基裕、白井靖敏、 <u>杉原央樹</u> 、辻和良、遠山佳治(代表)、羽澄直子、服部幹雄、原田妙子、三宅元子、野内友規、吉川直志(pp.179-182)
	大学における効果的な授業法の研究7—学生が主体的に学修する力を身につけるための教育方法の開発—(機関研究中間報告)	共	平成 30 年 5 月 31 日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第 12 号	市村由貴、佐々木基裕、渋谷寿、白井靖敏、 <u>杉原央樹</u> 、竹内正裕、遠山佳治(代表)、豊永洵子、羽澄直子、服部幹雄、原田妙子、三宅元子、野内友規、山田勝洋、吉川直志 (p.39)
	大学における効果的な授業法8(平成 30~令和 2 年度)—本学における効果的なアクティブラーニングの開発—(機関研究中間報告)	共	令和元年 5 月 31 日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第 13 号	三宅元子(代表)、市村由貴、河合玲子、佐々木基裕、渋谷寿、白井靖敏、 <u>杉原央樹</u> 、竹内正裕、遠山佳治、羽澄直子、服部幹雄、野内友規、山田勝洋、吉川直志(p.91)

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
その他 (報告等)	大学における効果的な授業法の研究8—本学における効果的なアクティブラーニングの開発—(機関研究中間報告)	共	令和2年 5月31日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第14号	三宅元子(代表)、市村由貴、河合玲子、佐々木基裕、渋谷寿、白井靖敏、 <u>杉原央樹</u> 、竹内正裕、遠山佳治、羽澄直子、服部幹雄、野内友規、山田勝洋、吉川直志(p.137)
	「大学における保育者養成」の意義に関する一考察 ー津守真の保育思想を手がかりにー(研究ノート)	単	令和3年 3月31日	早稲田大学教師教育研究所(プロジェクト研究所)『早稲田大学教師教育研究所紀要 教師教育研究』第11号	pp.60-68
	大学における効果的な授業法の研究8—本学における効果的なアクティブラーニングの開発—(機関研究中間報告)	共	令和3年5 月31日	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第15号	三宅元子(代表)、市村由貴、河合玲子、佐々木基裕、渋谷寿、 <u>杉原央樹</u> 、竹内正裕、遠山佳治、羽澄直子、服部幹雄、野内友規、山田勝洋、吉川直志(p.45)
	教師教育改革の動向と教師の自律性に関する一考察(研究ノート)	単	令和4年3 月31日	早稲田大学教師教育研究所(プロジェクト研究所)『早稲田大学教師教育研究所紀要 教師教育研究』第12号	pp.22-30